

《 競技注意事項 》

1. 規則について

本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場の開門時間は 7:30 である。(予定)

競技場は、全天候舗装である。スパイクピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは 12mm 以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が 4mm 以内、スパイクのピンの本数は 11 本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則 TR 5 を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場内で行うこと。フィールド競技の練習は、現地での最終チェック後競技場内で行うことができる。特に、投てき練習は、競技役員の指示に従って、試技順に競技場内で行う。

最初の競技開始 30 分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3 レーンは周回練習、5～8 レーンはスピード練習とする。ただし、7・8 レーンはハードル練習とし、4 レーンにコーンを設置する。

なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ フィールド種目の練習開始時刻は、競技役員の指示に従うこと。

※ 競技場・補助競技場以外のいかなる場所でも練習は禁止する。特に駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

- ・招集は招集所（競技者係）において本人が受けること。その後現地で最終チェックを行う。
- ・招集場所は 100m スタート地点付近のダッグアウト内に設ける。
- ・招集時間は競技日程に記載された通りとする。招集時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を認めない。
- ・男棒高跳の招集は競技日程記載の時間に現地で行う。
- ・招集はアスリートビブス確認のため、必ずユニフォームを着用して受けること。
- ・2 種目同時に出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入のうえ提出する。

5. アスリートビブスについて

- ・アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態（縦 16cm、横 24cm）で使用し、安全ピンは各自で用意すること。
- ・跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。
- ・トラック種目の出場者は、招集所（競技者係）においてレーン番号の腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。
- ・3000m の出場者は、招集所（競技者係）でレーン番号の特別ナンバーカードと腰ナンバー標識を受け取りそれぞれ胸・背と右腰やや後方につけること。
- ・リレー競技において、4×100mR の 4 走者、4×400mR の 2～4 走者は、レーン番号の腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。
- ・腰ナンバー標識、特別ナンバーカード共に競技終了後は返却せず、各自で持ち帰ること。
- ・アスリートビブスを紛失または忘れた者は本部にて再発行を受けること。（2枚1組 500 円で販売）自作のアスリートビブスは認めない。

6. トラック競技について

- ・予選の組・レーン順については主催者が抽選し、プログラムに記載する。
- ・予選ラウンドのある決勝のレーン順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。（競技規則 TR20.4）
- ・トラック競技は、すべて電気計時とする。
- ・同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部(1/1000)まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。

- ・記録会110m JHの高さは0.991m、インターバルは9.14mとする。
- ・記録会100m YHの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。
- ・記録会男子300mHの高さは0.914m、インターバルは35.0mとする。
- ・記録会女子300mHの高さは0.762m、インターバルは35.0mとする。
- ・トラック競技は1回目の不正スタートで失格とする。
 ※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。

7. リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームが確認できるものとする。
- ・男女4×100mRは競技開始60分前までのオーダー用紙提出とする。
- ・男女4×400mRは競技開始90分前までのオーダー用紙提出とし、欠場チームを除いて当日番組編成をする。

8. フィールド競技について

- ・フィールド競技の試技順は、主催者が抽選したプログラム記載の順番に従い行う。
- ・次の種目は競技運営上、複数の種別を同時刻に行う。

少年男子B走幅跳・少年女子B走幅跳
記録会男子走幅跳3組・記録会女子走幅跳
記録会男子砲丸投・記録会高校男子砲丸投
記録会男子円盤投・記録会高校男子円盤投

- ・跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。（ただし、荒天の場合は別途指示する。）

種目	練習	バーの上げ方						
記録会 男子走高跳 2組 1組	1m45～	1m50	1m55	1m60～1m90	1m95	2m00	以後3cm	
	1m60～	1m65	1m70	1m75～1m90	1m95	2m00		
記録会 男子棒高跳	2m80～	2m90	3m00	3m10～4m80	4m90	5m00	5m05	以後5cm
記録会 女子走高跳 2組 1組	1m15～	1m20	1m25	1m30～1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm
	1m35～	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58		

- ・走幅跳・三段跳の助走路は、(A)はトラック側、(B)はスタント側とする。
 ※男子三段跳については風向きによって(A) (B)ピットを入れ替える場合がある。
- ・男子三段跳の踏切板の位置は、(A)は砂場から12m00、(B)は10m00に設置する。
- ・記録会女子三段跳の踏切板の位置は、砂場から9m00に設置する。
- ・成年女子三段跳の踏切板の位置は、砂場から10m00に設置する。
- ・記録会男女走幅跳については暑熱対策（競技実施時間短縮）のため2回試技とする。

9. 競技用具について

- ・競技に使用する器具は主催者が用意する。ただし、砲丸・円盤・やり・ハンマーは、各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検査を受けて合格した物は、使用することができる。
- ・記録会高校男子砲丸の重さは、6.000kgとする。
- ・記録会高校男子円盤の重さは、1.750kgとする。
- ・少年男子B砲丸投の重さは、5.000kgとする。

10. 抗議について

WA競技規則TR8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服

の場合は、競技者に代わる責任者が上訴申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。(抗議は正式アナウンス後、上訴は審判長の裁定後 30 分以内とする。ただし、同一日に次のラウンドがある場合は、それぞれ 15 分以内とする。)

1 1. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所（競技者係）に提出すること。「欠場届」は招集所で配布する。

1 2. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則TR6)

ただし、競技区域外で撮影された映像を見ることがや録画再生機器を手にはよいが、その際は場所などについて競技役員の指示に従うこと。

1 3. 警告について

・競技規則TR7の規定により、違反があった競技者やリレーチームには審判長よりイエローカード(以下YC)を提示し警告を与えることがある。

・2回のYCの提示を受けた競技者やリレーチームは当該種目について失格となる。

1 4. その他

- ・役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。
- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- ・更衣室は、更衣のみに使用すること。各団体の控室のように占有して使用しないこと。
- ・正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- ・応援は、スタンド席で行う。(スタート時に声を出しての応援は禁止)
- ・スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- ・競技場外(公園内・駐車場・レストハウス)にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。

競技場隣接の横浜市民病院にあるコンビニを利用する場合は
「マスクの徹底」と静粛なマナー・言動をお願いします。